



カケハシ・プロジェクト（カナダ） カナダ若手リーダーの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】カナダの若手社会人4名、大学院生1名の計5名を、様々な視察を通じて日本における多文化共生の在り方を学ぶこと、日加のビジネス連携の可能性について意見交換すること、パートナーシップを促進することを目的として、11月24日～11月30日まで招へいしました。参加者は、日本の政治・経済・社会・文化・歴史・外交政策について知見を広げ、文化視察では文化継承への理解を深めました。さらに、関係各所との交流を行い、参加者各々が日本の魅力を発信しました。

【参加者】カナダの若手社会人4名、大学院生1名 合計5名

【訪問地】東京都、北海道

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

11月14日（金曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

11月24日（月曜日） 成田国際空港より入国

【来日時オリエンテーション】

11月25日（火曜日） 【視察】カナダ大使館

【視察】一般社団法人 日本経済団体連合会

【視察】皇居

11月26日（水曜日） 【視察】国会議事堂

【視察】DMZ Japan

【視察】深川江戸資料館

【表敬訪問】大西 洋平 外務大臣政務官

11月27日（木曜日） 東京都から北海道へ移動

【視察】ウポポイ（民族共生象徴空間）

11月28日（金曜日） 【視察】北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）

【表敬訪問】北海道 総合政策部国際局 国際課 木下 博史 課長

【テーマ関連視察】酪農学園大学：株式会社「インターリジョン」

11月29日（土曜日） 北海道から東京都へ移動

【視察】浅草

【文化体験】茶道体験

11月30日（日曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



11月25日【視察】カナダ大使館



11月25日【視察】
一般社団法人 日本経済団体連合会



11月25日【視察】皇居



11月26日【視察】国会議事堂



11月25日【視察】DMZ Japan



11月25日【表敬訪問】
大西 洋平 外務大臣政務官



11月27日【視察】ウポポイ（民族共生象徴空間）



11月28日【視察】
北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）

	
11月28日【表敬訪問】北海道 総合政策部国際局 国際課 木下 博史 課長	【視察】酪農学園大学：株式会社「インターリ ジョン」
	
11月29日【文化体験】茶道	11月30日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学院生

私に最も強い印象を与えたのは、政府から産業界まで多様な組織との対話を積極的に図ろうとする姿勢、そして日加関係の重要性について率直に議論しようとする意欲でした。さらに、このような大都市におけるインフラの質の高さと交通の利便性にも感銘を受けました。

◆ 社会人

酪農学園大学への訪問は非常に感銘を受けました。大学施設内を見学するだけでなく、教員や学生の方々と交流し、実際の経験談を聞くことができたからです。

また、北海道庁を表敬訪問し意義深い質問をすることができたこと、そしてそれに対する丁寧な回答をいただけたことも非常に良い時間でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

- カナダから日本進出している数少ないスタートアップ支援団体として、まずは弊社の存在を知っていただけたことが大きな成果だと感じています。また、参加された方の中にケベック州投資公社の方や、スタートアップで勤務されている方がいらっしゃいましたので、今後何かしら協業するきっかけとなればと考えています。

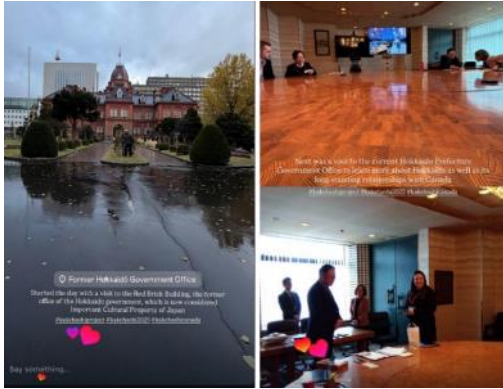
◆ 視察先関係者

参加された皆様と弊社職員が交流をする場面が2回ありましたが、参加された皆様方から多くのご質問を頂戴し、アイヌ民族の文化に大変興味をもっていただけたと思っております。次回からも交流をメインとした行程を提案していきたいです。また外国人の方にアイヌ民族の文化に大変興味を

持っていただいたので、より興味を持っていただけるように伝え方を弊団体として勉強していこうと思っております。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 Day one in Japan 🇨🇦🇯🇵 Grateful to kick off this journey with an inspiring and truly meaningful first day. Our group had the opportunity to visit the Embassy of Canada, Keidanren (Japan Business Federation), and the Imperial Palace in Tokyo. One highlight was seeing Indigenous representation through artwork at the Embassy of Canada. It was meaningful to feel a connection to home and to see Indigenous voices reflected even across the world. Each stop offered a unique perspective—from learning about Canada-Japan relations, to hearing insights on Japan's business landscape, to experiencing the cultural and historical heart of Tokyo. A huge thank you to everyone who welcomed us, shared their time, and engaged in thoughtful conversations. Your hospitality and openness made today incredibly impactful. Looking forward to the days ahead and continuing to learn, connect, and grow. 🇨🇦🇯🇵	2025 年 11 月 25 日（Facebook） 社会人 訪日、一日目。 刺激的で実に有意義な初日を迎え訪日のスタートを切ることができたことに感謝しています。私たちカケハシのグループは、カナダ大使館、経団連、そして皇居を訪問する機会に恵まれました。 東京のカナダ大使館で先住民族の表現をアート作品を通して見ることは本日のハイライトの一つです。故郷とのつながりを感じ、世界中に広がる先住民族の声を目の当たりにできたことは大変意義深い経験でした。 日加関係について学んだり日本のビジネス環境に関する洞察を聞いたり、東京の文化と歴史の中心を体験したりと、それぞれの訪問先で独自の視点を得ることができました。 私たちを温かく迎え、時間を共にし、有意義な会話を交わしてくださった皆様に心から感謝いたします。皆様のおもてなしとオープンな姿勢のおかげで、今日という日は計り知れないほど意義深いものとなりました。これからの日々を楽しみにしています。学び、つながり、成長し続けたいと思っています。
 Dans le cadre du #KakehashiProject et à titre de Présidente du Forum d'affaires Québec-Japon j'ai été invitée à rencontrer Mr. ONISHI Yohei, Parliamentary Vice-Minister for Foreign Affairs, au Ministry of Foreign Affairs of Japan. Nous avons échangé sur notre rôle dans le renforcement des liens entre le #Japon, le #Québec et le #Canada, notamment les relations économiques bilatérales mais aussi sur les perspectives de coopération et d'amitié entre nos deux pays. Participer à ce type d'échanges, qui visent à bâtir des ponts entre les cultures et les visions, me conforte dans mon engagement à promouvoir le dialogue entre le #Québec et le #Japon. https://lnkd.in/g/bt2DHDh #YoungLeaders #QuébecJapon #CanadaJapon Asia Pacific Foundation of Canada Courtesy Call on Parliamentary Vice-Minister ONISHI by Canadian Young Leaders mofa.go.jp 34 1 commentaire	2025 年 11 月 26 日（Facebook 等） 社会人 カケハシ・プロジェクトの一環として、ケベック・日本ビジネスフォーラム会長である私は日本の外務省にて大西洋平外務大臣政務官と面会する機会に恵まれました。 私たちは、日本、ケベック、カナダの 3 者間の関係強化、特に二国間経済関係、そして両国間の協力と友好の展望について話し合いました。 文化や視点の橋渡しを目的としたこのような交流活動への参加は、カナダ・ケベック州と日本間の対話促進に対する私のコミットメントを一層強固なものにしてくれるでしょう。



2025 年 11 月 28 日 (Instagram)

かつて北海道庁だった赤れんが庁舎（現在は国の重要文化財に指定されています）を訪問することから一日が始まりました。

その後、現在の北海道庁を表敬訪問し北海道とカナダの長年にわたる友好関係について学びました。



2025 年 12 月 5 日 (Forum d'affaires Quebec-Japon の X)

カケハシ・プロジェクト報告#1

カナダ大使館、経団連、外務省（大西洋平 外務大臣政務官）との協議を通じ、日加の「架け橋」としての連携強化を確認しました。国会議事堂やスタートアップ支援組織 DMZ Japan の視察も。この後、札幌・北海道へ



2025 年 12 月 5 日 (Forum d'affaires Quebec-Japon の X)

カケハシ・プロジェクト報告#2

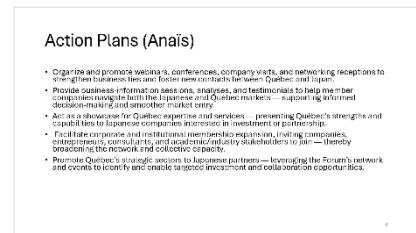
赤れんが庁舎見学後、北海道庁と 再エネ・半導体・AI について意見交換。

酪農学園大学で持続可能な農業の取り組みを視察。ウポポイ民族共生象徴空間でアイヌ文化への理解を深めた。

さまざまなテーマがケベックの現実と未来像と重なる。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、北海道 全1グループ発表



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び

- ・ 礼儀正しさ、社会的調和、革新への情熱といった価値観はカナダと共通するものでしたが、日本特有だと感じたのは他人への深い敬意を払う文化です。日常のやり取り、ビジネスエチケット、そして長期的な関係構築の随所に他人への敬意と配慮が感じられました。
- ・ 経済連携や人的交流など、カナダと日本の協力関係を推進する様々な動きやプログラムがあることを知り、カケハシ・プロジェクト（カナダ）の重要性を実感しました。
- ・ 日本食のおいしさに感銘を受けました。お寿司に代表される職人技、地域ごとの食の多様性、そして世界クラスの品質に裏打ちされた卓越した料理を現地で実際に味わうことができ感無量です。今までカナダで食べていたお寿司が何だったのかと思うくらい日本の刺身は新鮮でその保存技術には驚かされました。
- ・ また、今回初めて日本の先住民族アイヌの文化に触れる機会がありましたが、これは「ファーストネイションズ」が社会で重要な役割を果たしているカナダから来た我々にとって大変興味深い経験でした。カナダの先住民と北海道のアイヌの類似点、例えば伝統的衣装、踊りなどに触れインスピレーションを与えられました。
- ・ 日本の研究者や学生がどのように技術を商用化し、大学発ベンチャーといった新ビジネスを立ち上げているのかを知ることができ、日本におけるスタートアップの位置づけを知ることができたのは刺激的でした。

◆ 帰国後の展望

激動する世界情勢のもと、私たち五名は一丸となってカケハシ・プロジェクトで得た洞察と学びを各自の領域において広く共有し、カナダと日本の人的交流のさらなる発展に貢献したいと考えています。ファーストネイションズの観点から、日本各地での文化体験やアイヌ民族との共通価値観をカナダの先住民コミュニティと共有し、理解を深めたいと思います。

訪日で得た人的ネットワークをカナダの経済界に持ち帰り、経済使節団の増員や双方向投資への関心を高め、両国の強固な経済関係の構築に寄与したいと考えています。

【アクション・プラン】

● ケベック州投資公社

ケベック州投資公社の一員として、以下のような活動を実行したいと考えています。

- ・ ケベック州と日本との経済関係を強化し、新たな人脈を育むため、ウェビナー、会議、企業訪問、ネットワーキングレセプションを企画。

- ・ 会員企業が、日本とケベック州両市場で円滑に事業を展開できるよう、情報セッションや事例紹介を提供。
- ・ 日本企業にケベック州の強みを紹介し、投資や提携の機会を発掘。

● トロント大学マック国際問題・公共政策研究所

日本研究センターの修士学生として、カナダ・日本間の知識交流の強化のため関係者に向けて、幅広く発信を行っていきたいです。

- ・ カケハシ・プロジェクトで得られた教訓、主要な成果を紹介するレポートに加えて短編ビデオを制作し、発信。
- ・ 日本の研究者や政府関係者を招き、カナダ国民や大学関係者との交流を促進。
- ・ 中小企業支援の観点から、日本進出を躊躇するカナダ企業の意識改善を目指す。
- ・ 日本のイノベーションとスタートアップ・エコシステムの調査を推進。

● ファーストネーションズコミュニティ・ユースカウンスル

- ・ カケハシ・プロジェクトの経験を地域ユースカウンスルと共有。
- ・ 若者が将来カケハシ・プロジェクトに参加できるよう、プログラム内容や参加方法を広める。
- ・ 両国の先住民コミュニティ間の関係強化を推進。

● ウィニペグのユダヤ人コミュニティ

- ・ 日本人コミュニティとのつながりを育むため「安息日ディナープログラム」を活用。
- ・ 日本のユダヤ人コミュニティに関する調査を行い、地元に知識を広める教育プログラムを開発。

● ブリティッシュ・コロンビア州先住民友好センター協会

プロジェクト管理者として、カケハシ・プロジェクトの経験から様々なインスピレーションを得ました。今後さまざまなイベントを通じてそれを共有できる機会を模索していきたいと思っています。

- ・ 2026年3月バンクーバーで開催予定の「Gathering Our Voices」に向けて、日本総領事と協議。
- ・ アイヌ代表をカナダに招き、文化交流イベントを企画。
- ・ 今回交流した酪農学園大学の教授と再会し、地球環境ガバナンスと先住民族保全活動の推進について協議。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）